

外国語教育メディア学会（L E T）関西支部中学高校授業研究部会・
京都教育大学英語の教え方研究会 主催

2012年度 7月例会のご案内

日 時： 2012年 7月15日（日）13：30～17：00

会 場： 京都教育大学 CALL教室（1号館B棟4階）
（アクセスは<http://www.kyokyo-u.ac.jp/>から）

参加費： L E T会員・英語の教え方研究会会員 無料
京都外国語大学英語教育研究会会員 300円
学生 200円 一般 500円

問い合わせ先： 西本有逸（京都教育大学） yuitsu@kyokyo-u.ac.jp
鈴木寿一（京都外国語大学） j_suzuki@kufs.ac.jp

内容：

13：10～ 受付
13：30 開会

音読指導：教師の声かけを探る

京都教育大学 西本有逸

音読指導の際、教師の「音読しなさい。」という指示だけでは豊かな音読は望めません。音読の目的と指導過程中の時期によって、さまざまな声かけが考えられます。具体的な教材を扱いながら、音読指導の声かけの幅を広げてみましょう。また、声かけ=voicingとは実のところ何なのかを考えてみたいと思います。

14：45 休憩

15：00 再開

音読と定期考査の工夫が英語力に及ぼす影響について
—「教科書だけで大学入試は突破できる」を検証する—

岐阜県立武義高等学校 鷺見俊幸

英語が苦手で、なかなか定着が難しい学習者に対し、どのような指導が効果的であるだろうか。本校は普通科と商業科があり、いわゆる中堅の進学校である。平成21年度の国公立大学の合格者は31人であり、平成22年度の国公立大学の合格者は25人である。本校の生徒の特徴として、英語が苦手な生徒が多いということが挙げられる。現状では、

単語集を使って、小テストを行い、語彙を増やす試みがなされているが、なかなか定着していない。たくさんの語彙を身につけさせたいという意図であるが、一体どれくらいの語彙が必要なのだろうか。金谷(2009)は、教科書だけで大学入試の95.6%の語彙をカバーすることができるとしている。単語集を使って行う英単語の暗記を授業からなくすことで、かなりの時間が節約できる。浮いた時間で教科書の復習を行い、教科書の英単語を定着させることで、学力の向上が図れないかと考えた。また、定期考査にも問題がある。通常、生徒は定期テストに向けて勉強するが、テストが終わると同時に憶えたものを忘れていくようにみえる。静(2002)はテスト範囲を累積的に広くしていくことを主張しているが、教科書の英単語を定着させるためにはこの方法が良いように思われる。つまり、テスト範囲を常に最初からにすることで、生徒に何度も単語や重要な表現、文法に出会わせようと考えたのである。このやり方で、従来とどのように学習者の成績が変化したのかをみていきたい。

17:00 閉会

会場までのアクセス：

1) 京阪電車利用の場合

- ・淀屋橋、天満橋、京橋からは、特急あるいは快速急行で丹波橋下車、普通あるいは準急電車に乗り換え、墨染駅下車（所要時間約40分）。徒歩約8分。
- ・四条からは、普通あるいは準急電車で墨染駅下車（所要時間約15分）。徒歩約8分。

2) JR京都駅よりJR奈良線利用の場合

JR京都駅でJR奈良線に乗り換え、普通電車でJR藤森駅下車（乗車時間約8分）。徒歩約3分。

3) 奈良方面より近鉄電車利用の場合

西大寺にて快速または快速急行に乗り換え、丹波橋下車。京阪本線普通あるいは準急電車に乗り換え、墨染駅下車（乗車時間約40分）。徒歩約8分。

お願い： 最近、メールアドレスを変更される方が増えておりますため、案内をお送りしても100名分以上が戻って来ます。今後、メールアドレスを変更される場合は j_suzuki@kufs.ac.jp までお知らせください。

今後の予定：諸般の事情で日程・会場が変わる可能性もあります。

- 9月 9日（日）例会 於）京都教育大学
- 12月 9日（日）例会 於）京都教育大学
- 1月13日（日）例会 於）京都教育大学
- 3月16日（土）第19回中学高校教員のための英語教育セミナー
- 17日（日）
於）キャンパスプラザ京都